

日時：令和元年5月30日（木）14時～15時30分

場所：射水市役所201・202会議室

出席者：委員15名

## 1 議題及び会議の結果

### (1) 射水市の健康に関する現状について

射水市の人口構造、人口動態、死亡状況、疾病の状況及び介護保険利用状況の分析について確認した。平均寿命と健康寿命については、次回の射水市健康づくり推進協議会で指標を提示し、現状の評価とする。

### (2) 第2次射水市健康増進プランについて

背景、目的、位置づけ及び期間について確認した。概念図は他の計画との位置づけを明確にできるように改善する。

### (3) 第2次射水市健康増進プランのためのアンケートについて

協議内容を踏まえて事務局で改善したものを委員へ再提示する。

### (4) 第2次射水市健康増進プラン策定スケジュール（案）について

スケジュール案のとおり進めていく。

## 2 報告事項、協議事項及び会議資料

### 【審議事項】

(1) 射水市の健康に関する現状について (資料1)

(2) 第2次射水市健康増進プランについて (資料2)

(3) 第2次射水市健康増進プランのためのアンケート（案）について (資料3)

①市民向けアンケート

②健康づくりボランティア向けアンケート

(4) 第2次射水市健康増進プラン策定スケジュール（案）について (資料4)

(5) その他

### 【資料】

- ・資料 1 射水市の健康に関する現状について
- ・資料 2 第2次射水市健康増進プランについて
- ・資料 3 第2次射水市健康増進プランのためのアンケート（案）について
- ・資料 4 第2次射水市健康増進プラン策定スケジュール（案）について
- ・参考資料1 健康日本21（第2次）の概念図
- ・参考資料2 射水市健康づくり推進協議会委員名簿
- ・参考資料3 射水市健康づくり推進協議会条例

### 3 会議内容

(1) 開会

- ・配付資料の確認等

(2) 会議成立報告

- ・委員16名に対し15名の出席があり、本会議が成立している事を報告

(3) 会長あいさつ

(4) 委員の紹介

(5) 審議事項

- ・事務局より資料説明
- ・質疑応答

<質疑応答事項>

① 資料1「射水市の健康に関する状況について」

【会 長】

健康寿命延伸が目的だが、その評価の指標についての説明は？

【事務局】

今回は指標が整っておらず、次回、健康寿命と平均寿命を提示し評価したい。

② 資料2「第2次射水市健康増進プランについて」

【委 員】

第1次の計画では市の高齢者の計画や地域福祉の計画と横並び、それが地域総合計画に結びつき、総合計画にという形だった。この図では他の計画の上位に位置づけに変更があったのか？

資料2の図で第2次健康増進プランが上にあるため、位置づけを介護予防的な健康づくりだけではなく、広い意味に取り組んでいく、また、自殺対策も入るため、若干上に位置づけるといって進めてほしい。

【事務局】

健康増進プランを他の計画の上位計画として位置づけしていない。今回、概念図として健康増進プランを明確にするため上の位置にした。今度、訂正する。

③ 資料3「第2次射水市健康増進プランのためのアンケート」について

【委 員】

文字の大きさについて、文字サイズを大きくすると書こうという気もでる。

事務局：現状は小さい字で見にくく、回収率がさらに低くなる。今後は専門業者と文字サイズ、レイアウトを検討し変更する。設問の回答方法について、回答しやすいよう、次の質問項目への誘導表記を行う。

## 【会 長】

設問の内容について、資料3-1、問6の「2. 行っていない」と答えたらどこへ行くのか。現状は書かれておらず「問8, 9」に答えてしまう。問1と問2について、問2は健康状態を少しでも良くしたいという向上心をみようとしている。「2. 今の健康状態をとにかく保ちたい」は集計上、好ましいのか？例えば、問1で「1. 健康である」の人が「2. 今の健康状態をとにかく保ちたい」とする場合はよいが、問1で「4. 健康でない」の人が「2. 今の健康状態をとにかく保ちたい」はよくない。このように集計に困る組立はよくないのでは？

## 【委 員】

アンケートはプランをどこに使うための内容であるかが大事。「健康日本21」は目標値を設定し、クリアしていく発想で作られ、国も目標値も掲げている。県も目標値を掲げており、市の目標値は目標指標と目標値を出していく。その時に目標指標をどうするかというところも今検討しないと、このままずっと何十年もいくのか？今、区切りの時にアンケート項目を精査し、先に進んでいくかということも大切。「皆が健康になりたいと思える人が増えればいい」という発想なら、問2で今より良くしたいと思う人を増やすことでよいと思うが、今までの目標項目がそれでよいかを考慮して、アンケートを見直ししたらよいと思う。問1、2は市として「どういう人を増やしたいか」を明確にするべき。

## 【会 長】

問1、2で目標を設定しようとするのは難しいということか？

## 【委 員】

アンケートをとる目的だと思う。回収率がよく、市民の健康状態の実態把握し、様々な施策や対策に活用するためにアンケートをとるということであれば、どのような内容でもよいと思う。プラン作成には評価のための目標数値をとるための設問は抜けてはいけない。評価項目とアンケート項目が整合できていることも大事なポイント。資料2-2にプランの概念図(案)があるが問1、2でどこを支える目標数値になるのか？アンケートの設問が多いと回収率が下がると思われる。目的にそってスリムなアンケートにした方が文字が大きくでき、アンケート用紙の枚数が減り、書く気が起こり、回収率がよくなるのではないか？

## 【事務局】

問1は、主観的健康感を確認するためのもの。施策を実施する時に、主観的健康感が健康であるほうがより予防値で効果があるというデータがある。主観的健康感を確認し、問2では、今後の意欲等について確認し、どういう部分に施策としてアプローチをしていく必要があるか確認していく。問1、2については、健康増進プランの中でKPIとして目標値として設定するものではなく、そのKPIを設定する中でその背後にある健康感や主観

的感觉、意識的なもの把握するものとして設定。

【会 長】

同じような意味で問16「あなたは現在の食生活に問題があると思いますか」、問17「あなたは自分の食生活について今後どのようにしたいと思っていますか」も同じ意味合いでよいか？問16が主観的に問題意識があるかどうか、次に問17で自分の食生活について「今より良くしたい」「今のままでよい」「特に考えていない」と、その人の善悪を評価するのではなく、主観と健康を見ようとしていると理解してよいか。

【事務局】

はい。問1・問2をクロス集計で、「そう思っている方が今後どのようにしていきたいか」等の分析も考えていく。

【会 長】

問33「糖尿病について」は、クイズ問題になっている。教育する意図があるのか。答えは1だが、間違っただけの方には、正しい内容を伝えなければいけないと思う。

【委 員】

計画には今後の対策上、糖尿病に関して、どの部分を市民が間違っただけで覚えているか、理解をしていないかを把握できれば、糖尿病の啓発していく根拠になると思う。糖尿病に関する知識は正しく覚えてもらえていないということは事実であり、どこが知られていないかを把握したいということ。結果を、例えばリーフレット等でこういう間違いが多いが、正しくはこうであるということ伝えることはできる。

【会 長】

アンケートは1回であり、アンケートとしては不適切だと思うが、どうか。

【事務局】

糖尿病について、この後の健康に関する言葉の設問でまとめた部分もある。糖尿病という言葉については浸透してきていると思うが、内容について正しく知られているか把握したい。

【会 長】

「ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、クというのは正しい記述ですが、知らなかった方はおられますか」や、「ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、クというのは正しい記述です。これについて知っておられましたか」という質問がよいのでは。正しい記述であること、これについて分からなかった方がいるかが分かるアンケートにしてはどうか。

【事務局】

修正について検討したい。

【会 長】

アンケートはこの場で意見を言い、それを事務局が一任してまとめ、7月、8月にアンケート調査をするのか。

【事務局】

今日の会議の後にもう一度持ち帰り、意見があれば机上配布用紙に記入しFAXで送付してほしい。その後修正し、また委員の皆様方にアンケートの案を出し見ていただく計画。

【会 長】

20歳から80歳の方を想定し、出来るだけ皆さんが答えたいと思うものになっていけばよいと思う。

【委 員】

資料3に、アンケートの対象が20歳から80歳の市民全員を抽出すると書いてある。参考のところに中間評価のときの結果が似たようなアンケートで20歳から80歳未満の市民1,000人で50.6%回収できたとある。今回、中間評価と最終評価の比較であり、対象者数は2,000人でもよいが、年齢階級の比率が同じくらいになるよう、バランスも想定し追加の評価表を出す等、比べるような形で結果が出るとよいと思う。

【会 長】

過去に、家を訪問するアンケートは家にいる方が主婦や高齢者となり、若い人たちが反映されなかったと聞いた。今回は郵送して回収。

【委 員】

アンケートの数は大変難しいと思う。たくさんのアンケートをとって集計をとれば、それだけ内容的に近いものが単純計算で2,000人、20歳から80歳各8項目(20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代)その2,000人で割ると20代の方に平均250名、そのうち半分の125名の女性・男性のうち、回収率がほぼ同じとして100人、20代の方の男性100人の意見がどれだけ正しいのか。郵送や予算等で人数が決まったと思うが、それぞれの年代層で同じほどの数が得られなければ追加する、同じ数値になるようなバランスで抽出するなど考えなければならないのではないのか。この2,000人と言う数値が妥当かは分からないが、1,000人に対して51%弱は、アンケートとして信頼できる数なのか。回収したアンケートをどう読み取るかも大変難しいと思うが、射水市民が何万人いての回収率が50%、その数値はどこまで信頼できるのかと思う。

【事務局】

射水市の様々な部署でアンケート実施。数字的には似たアンケート数になっている。回収率も5割前後。統計上の信頼性だが、ある程度の数がある程度全体の意見に置き換えられるのが統計上あり、今例えば2,000人で1,000件、1,000人分の回収があればアンケート調査としての信頼性はあると考えている。

【委員】

アンケート数が前回より倍。前回の数値に若干弱さを感じたからではないかと思う。なぜ急に倍になったのか疑問に思う。

【会長】

「7月から8月にアンケート調査を実施」は今検討しているアンケートの実施か？

【事務局】

そのとおり。このアンケートで評価、最終評価になる。

【委員】

問31について、実際的な歯の本数を知りたいのか。ブリッジは本人が歯の本数の把握が難しいと感じる。

【会長】

「歯の健康について」について、歯の本数等を評価にするのは古い考え方で、歯の健康状態を見るよりも、70・80歳になったときに歯槽膿漏等の歯の不都合を評価するほうが重きをおく流れに。歯の本数自体を重く見ていく時代ではなくなっている。意味は無いことは無いが、結果が出たときに「あ、そうか」ということになるかと思う。虫歯の本数は、小学校・中学校で出ている。学校保健で細くわかる。お年寄りの歯の状況は難しい。

【委員】

ブリッジとは歯と歯の橋渡し。専門用語が市民が見てわかるかどうか。

【委員】

歯の本数、8020。平成の初めの頃から大変長くやっているが、その背景には歯とブリッジと違うのは歯根膜の有無、歯根組織があるかないかが健康に関係することは、歯が残っている方のほうが健康度が高い評価がひとつある。新潟大学のほうで歯の健診をしないと、データが取れず労力がかかると、国でも調査をやっているが、労力がかかる。歯医者さんが調査をしながら自分でアンケートを書かせてそれと付け合せた結果あまり大差はないということに。ブリッジ・インプラントについてはイラストを書いた説明が横にあ

ったと思う。それがあると大きな差はないという新潟大学での研究結果で、国もこれからはアンケートでみようと言っている。

**【事務局】**

検討する。

**【会 長】**

各専門の皆さんが、まず何か気の付いたことをお願いしたい。

がんについて「がんの検診の受診状況」の間34は大事になる。年代ごとに差が出てくると思う。20・30代が少なく40・50代で増えるかもしれないという予想がある。特に今、射水市で健診の受診率が悪い。健康づくりの中でメタボリックとかロコモティブ、運動で予防できるが、がんはがん検診で早期発見・早期治療が大切で、ひとつの健康づくりの大きな道筋。「受けなかった理由は何ですか？」は医療関係が知りたい。目標と関係なく知っておけばいい事と思う。5年経ち、同じ事をやって受診率が上がっている、上がっていないと評価できるかも知れない。

**【委 員】**

射水市のプランは、健康の学校保健や思春期が抜けていた。学校保健のデータ、歯だけではなく虫歯等を踏まえ、今回は『次世代の』ということが打ち出されているので評価されると。虫歯の数、思春期歯肉炎、身体や心の学校保健の分が少ないので、市のプランであればその世代のお子さんにも、ぜひ取り込んでほしい。

**【会 長】**

歯は最近学校保健会では、小学校1年生・2年生が虫歯という話になるが、中学校では歯槽膿漏予防の話をする時代になっている。

**【委 員】**

資料4のアンケート案について、7月から8月アンケート調査の時期だが、母子保健推進員は月1回程度定例会を行うので、そのときに事前に知識として話したい。ボランティアのアンケートは、早く発送したり、定例会の時期に担当の保健師がもってくるのか、食改、ヘルスボランティアでも事情があり、市の計画を教えてほしい。

**【事務局】**

ボランティア向けアンケートについて、市の担当から会長に相談し、今後のスケジュールを決めていきたい。

**【委 員】**

月1度しか集まらないため、まとめるのが大変。

**【事務局】**

負担の無いように準備したい。

**【委員】**

市民の2,000人の方に抽出して発送すると、ボランティアと市民と重複することは無いのか。重複しても内容が違うから2つともアンケートは出すということか。ボランティア重複者がいる。

**【事務局】**

了承。

**【会長】**

以上で終了。

(6) 閉会